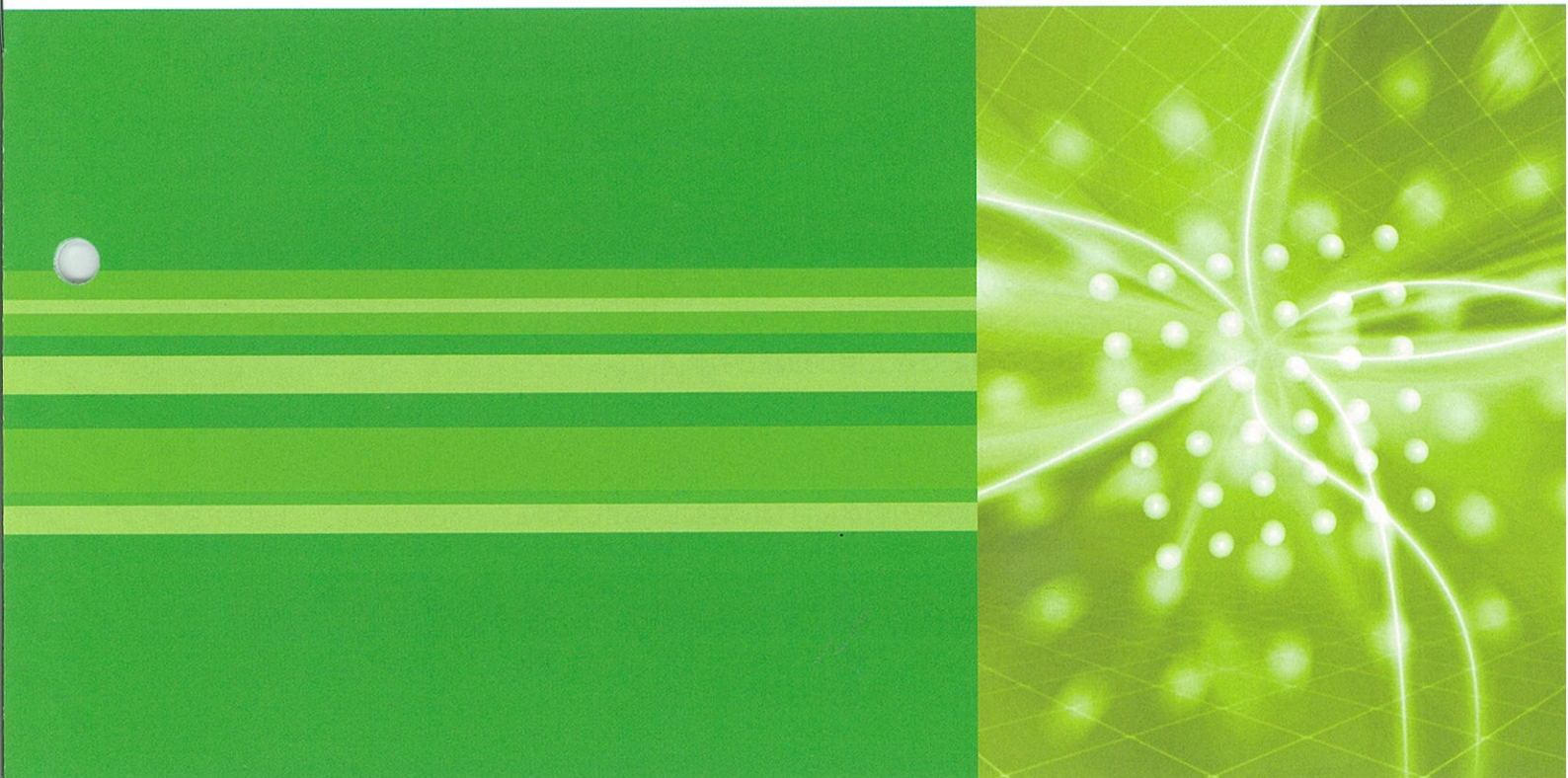


DIA

ケイ酸質系塗布防水材

パウダックス防水



JASS 8 ケイ酸質系適合

 **防水性**

優れた防水性で、内・外防水にも使用可能です。

安全性

毒性がなくプールや飲料用水タンクにも使用できます。

パウダックス防水の特長

高い安全性と施工性。優れた防水効果を発揮します。

防水効果

コンクリートを緻密化し、躯体そのものに防水性を与えるので防水効果は完璧です。さらにその効果は長期間持続し、コンクリート躯体の老化を完全に防ぎます。

工期の短縮

パウダックス防水とコンクリートとの化学作用は、コンクリート中の水分によって促進されます。従って、コンクリート躯体が湿っている方がより効果的なため、生乾きのコンクリートにも型枠を外した直後でも施工でき工期が短縮されます。

地下構造物に最適

常に湿った状態にある地下構造物の防水には特に有効に作用します。

接着性

無機質浸透型でコンクリートに対して優れた接着力を示します。また、パウダックス防水施工硬化面に対する保護モルタルとの接着性も優れています。

内防水・外防水のいずれにも使用可能

毒性がありません

毒性がなく、プールや飲料用水タンクにも使用できます。

作業性・安全性

施工が安易で硬化も早く、防水工事期間が短縮できます。また完全水系のため火気に対する心配がなく有毒ガスの発生もないので換気の悪い地下作業でも安全です。

美観

塗布面は均一なコンクリート色に仕上り、美観の向上に役立ちます。

パウダックス防水の作用

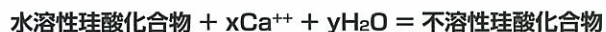
パウダックス防水の防水機構

パウダックス防水をコンクリート表面に直接塗布することにより、パウダックス防水の中に含まれている特殊成分がコンクリート内で化学的に反応して水に溶けない結晶を生成、コンクリートの躯体表層部の毛細管の空隙を充填して緻密な構造体に変えていきます。

こうして塗布面とコンクリートとの一体化、緻密化によって防水効果を発揮します。

パウダックス防水とコンクリートとの反応

第一段階では、パウダックス防水の練り水により配合成分中の特殊な化学活性成分が溶出し、それがコンクリートの細孔や毛細管を通して内部へ浸透していき、コンクリート内部に生じた遊離の石灰と反応して不溶性の結晶体を生成しコンクリート表層内部を緻密化して透水抵抗の大きな防水層を形成します。



第二段階では硬化したパウダックス防水塗布面にコンクリート面より水が浸透してきた場合には、その水は遊離の石灰分を含んでおり、塗布面と接触した際に塗布面より特殊な化学活性成分が溶出してこの遊離石灰分と反応して不溶性の結晶を生成、浸透してきた水の通路（空隙）を充填し緻密化して透水抵抗の大きな防水層を形成していきます。

この第二段階の反応は長時間反復され有効に働きます。

以上の浸透反応による防水層の形成はアスファルト防水、シート防水、塗膜防水、モルタル防水などと全く異なる機構で、コンクリートの湿潤、乾燥の繰返しの中で長時間に亘り持続し、コンクリートをより水密化し保護していくのが大きな特長なのです。

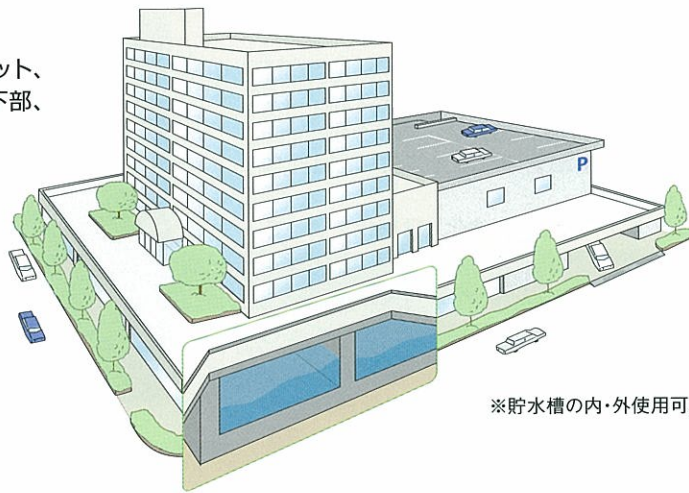


パウダックス防水の用途

浸透による漏水のおそれのある箇所、特に地下構築物のコンクリート面及びモルタル面。

建築関係

地下壁面、地下受水槽、雑排水槽など各種ピット、エレベーターピット、機械ピット、工場の地下部、水関係施設など



上下水道関係

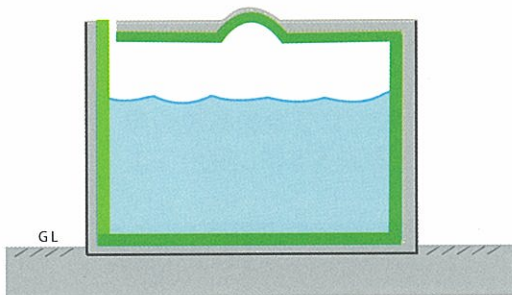
貯水槽、浄水層、沈殿槽、配水池、汚水処理槽、管廊、管理棟地下部など浄水場、下水処理場、ポンプ場などの施設

排水処理施設

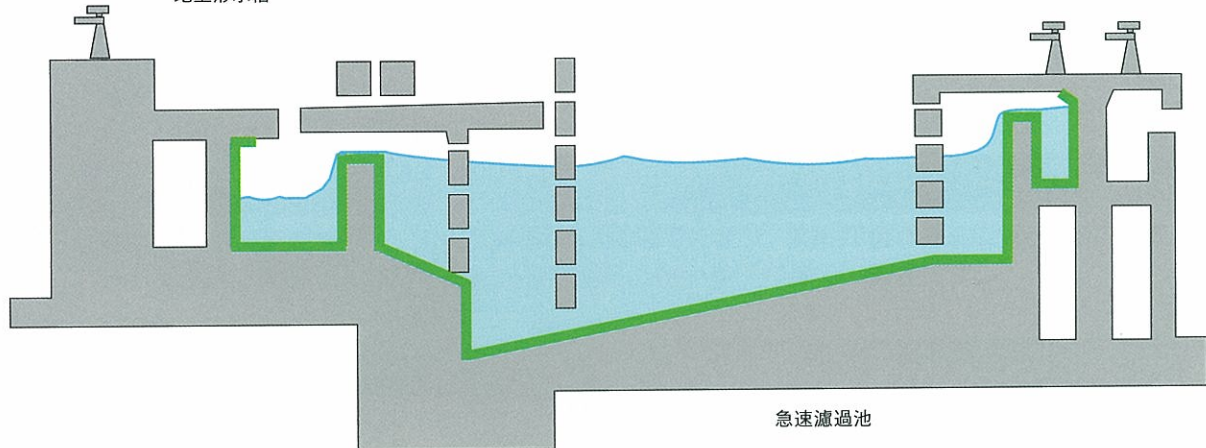
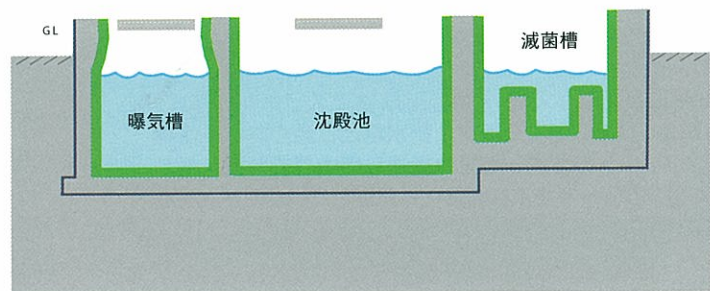
工場排水、生活排水などの水処理施設

土木関係

トンネルコンクリート覆工面、地下ピット、地下道など



地上形水槽



農業用施設

ファームポンド、用水路など

その他

ヒューム管への塗布

パウダックス防水の仕様

下地調整

●清掃およびはつり

1. コンクリート面に付着している土やほこりは十分に清掃します。離型剤が付着している場合は洗い流します。
2. レイタンスや凸ばりは、ワイヤーブラシ、グラインダー、ケレン棒などで完全に除去します。
3. コンクリート中の木片類は完全に除去します。
4. ジャンカ及びコンクリートの亀裂部分は不良箇所をはつり補修を行います。

●水養生

下地調整の終わったコンクリート面はパウダックス防水を塗布する前に必ず水養生（水湿し）を行います。

調合

●調合割合

水との混練には攪拌機を使用します。

コテ施工 パウダックス防水：水 100：28

吹付け施工 パウダックス防水：水 100：33

ハケ塗り施工 パウダックス防水：水 100：40

●調合後の可使用時間

可使用時間が比較的短いため、混練する材料は可使用時間内に使い終わる量とします。材料が硬化しはじめた場合でも絶対に加水しないで使用下さい。

施工

●パウダックス防水標準塗布量 $1.5\text{kg}/\text{m}^2$

コテ、吹付け施工の場合は1回塗りが可能です。
ハケ塗り施工の場合は2回に分けて塗布します。

●水養生

作業の都合で2回目工程が翌日にまたがったとき、あるいは1回目の塗り面が急激な乾燥で白っぽく乾燥した場合は必ず水養生（均一に水湿し）してから2回目を塗り重ねます。

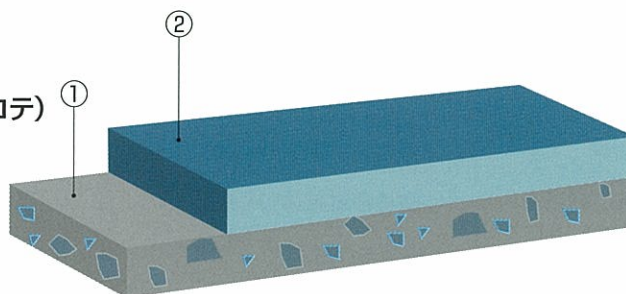
施工後の養生

施工直後の塗り面は、直射日光や風などによる急激な乾燥をさけ、必要に応じて散水養生、濡れむしろ、シート養生などを行います。また塗り面の凍結防止に十分注意して下さい。

①下地処理・前処理（清掃含む）

②パウダックス防水塗布 $1.5\text{kg}/\text{m}^2$ （コテ）
散水養生（乾燥の厳しい時）

※ハケ塗りの場合は2回塗りとします。



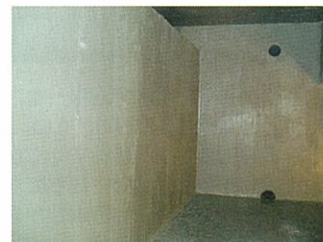
下地補修



材料混練



塗布



完成

水質試験

パウダックス防水は、成分上毒性はなく、硬化物の浸漬水について水質検査を行った結果、水道法に基づく水質基準に適合しております。

水質試験検査成績書	
東京府第 2872 号 平成11年03月19日 信和化学工業株式会社 株式会社 厚生大臣認定検査機関(食品衛生法・水道法) 社団法人東京都食品衛生協会 東京食品技術研究所	
平成11年03月02日 検査依頼により提出された試験品について行った試験検査結果は、下記の通りです。	
試験品名	パウダックス防水(浸漬水)
採取場所	当所 (検査番号: JFWA-K142 総合試験に付す)
採取日	平成11年03月04日
検体番号	検体番号
項目	測定値
一酸化炭素	0.005未満
大腸菌群	0.005未満
総硬度	150mg/ℓ以下
硫酸性硫酸塩及び塩化物イオン	0.1未満
硫酸イオン	0.9
亜硫酸イオン	1.7
pH	7.9
臭	異常なし
色	異常なし
濁度	0
残留塩素	0
検定	上記の試験項目については水道法水質基準に適合
試験年月日	平成11年03月04日
検査責任者	磯田 修志

パウダックス防水の荷姿



25kg
ビニール内袋

試験成績表

試験項目	品質基準	結果	試験方法
可使用時間	23℃: 70~90分	80	社内試験方法
単位容積質量	2.0±0.10	1.92	JIS A 1171 : 2000
透水量	3ml以下	1.6	JIS A 6916 : 2000
付着強度	1.0N/㎡以上	2.2	JIS A 6916 : 2000
針状、繊維状の結晶量	無塗布試験体の2倍以上	4.4	JASS 8 ケイ酸質系塗布防水材料品質試験※
透水系数	無塗布試験体の1/3以下	13/100	JASS 8 ケイ酸質系塗布防水材料品質試験※

※JASS 8 T-301 1タイプ適合 (1タイプ: ポルトランドセメント、細骨材そしてケイ酸質微粉末からなる粉材を水で混練するタイプ)

⚠ 取扱い上の注意

- 1 パウダックス防水を取扱う場合は、必ずゴム手袋を使用し、手を荒らさないようにして下さい。
- 2 皮膚に付着した場合はすぐに水洗いすると安全です。
- 3 工具、容器は使用後ただちに水洗いして下さい。
- 4 パウダックス防水は吸水性がありますから、つねに乾燥した場所に保管して下さい。
開封した袋は使用後口をかたくしぼり、湿気が入らないように保管して下さい。



ダイフレックスグループ

快適・創造・イノベーション

 恒和化学工業株式会社

本社 / 〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル

☎ (03) 5322-7020(代) FAX (03) 5322-7021

URL <http://www.dia-kowa.co.jp/>

取扱店

※全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お問い合わせは、お気軽に本社までご連絡下さい。